

JOC ジュニアオリンピックカップ 第56回U16陸上競技大会広島県突破記録会

- 1 主 催 広島陸上競技協会 開 門 7:00
 2 期 日 令和7年8月31日(日) 団体受付 7:45~8:15
 3 会 場 Balcom BMW 広島県総合グランド陸上競技場 役員打合せ 8:20~
 4 種 目 男子(13種目)

100m	145m	1000m	110mYH (0.914m/9.14m)	110mJH (0.991m/9.14m)	走高跳	棒高跳	走幅跳
三段跳	中学共通砲丸投 (5.000kg)	中学砲丸投 (4.000kg)	ジャベリックスロー	円盤投 (1.500kg)			

女子(12種目)

100m	145m	1000m	100mMH (0.762m/8.00m)	100mYH (0.762m/8.50m)	走高跳
棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投 (2.721kg)	ジャベリックスロー	円盤投 (1.000kg)

- 5 参加資格 (1) 広島県に在住し、**2010年1月1日から2013年4月1日の間に生まれた競技者**
 (2) 2025年度日本陸上競技連盟の登録者で登録料の納付を済ませている者。
 6 競技規定 (1) トラック競技は、全てタイム決勝とする。
 (2) フィールド競技(走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックスロー)の試技は3回とする。
 7 参加申込 (1) **申込期間** **令和7年7月20日(日)~7月30日(水) 23:59まで**
振込期間 **令和7年7月20日(日)~7月31日(木) 12:00まで**

※申込の期限を過ぎた場合には受け付けない。

- (2) 参加料 1種目500円
 (3) 参加制限 **一人1種目のみの出場とする。**
 (4) 申込方法 団体別一括申込
 ①申込先「NANS21 v Web登録サービス」から一括申込をする。
 ②申込手順(別紙手順を確認すること)
 ※スマートフォンからのエントリーは不可。
 ③ **受付シート(広島陸上競技協会HPよりダウンロード)**
 (ファイル名「JOCU16広島県記録会(団体名)」)を
 「eygmgn3626@yahoo.co.jp」に添付してメールで送る。
 ④ 参加料は全て銀行振り込みとする。期日までに振り込むこと。※持ち込み、郵送は受け付けない。銀行振込先は、次の口座とする。
必ず「キ・(団体名)」と団体名を記載して振り込むこと

(例) 広島市立湯来中学校→「キ・湯来」
 広島銀行 安芸府中支店(025) 普通 口座番号3089873
 一般財団法人 広島陸上競技協会 会長 三宅 勝次

- ④ エントリー締め切り後の選手変更等は、システム上できないため間違えないように登録すること。

- (5) 競技日程 大会1週間前までに広島陸協HPに掲載する。
 (6) スタートリスト 大会1週間前までに広島陸協HPに掲載する。
 8 その他 (1) 競技中の傷害については、応急手当のみとし、主催者は以後の責任は負わない。
 (2) 招集時間はプログラム記載のとおりとする。
 (3) JOC ジュニアオリンピックカップ第56回 U16 陸上競技大会の実施種目・申込資格記録は日本陸上競技連盟のHPを参照にすること。
※都道府県代表選手については、広島陸協HPに掲載する「広島県内の選考について」に基づいて選考する。
 (4) 本記録会の終了後にJOC ジュニアオリンピックカップ第56回 U16 陸上競技大会参加申込書などを渡すため、該当の選手、関係者の皆様は総務(ジュニア担当)に確認すること。
都道府県代表に関しては、選考締切期日の関係から後日FAXにて伝えることもある。
 (5) 参加団体は、1名以上の競技役員を置くこと。
 ※参加団体関係者が複数名在籍される団体は、競技役員に2名ご協力ください。

- 9 問い合わせ先 (1) 【エントリー等に関する問い合わせ先】
 小野 肇 メールアドレス eygmgn3626@yahoo.co.jp
 ※受付はメールのみとする。所属、氏名、質問内容、連絡先をすること。
 記載漏れは返信をしない
 ※問い合わせ時間を守ること。(8:00~18:00)
 (2) 【入金確認に関する問い合わせ】
 広島陸上競技協会 TEL 082-223-3256

競技注意事項

- 1 本競技会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。
- 2 招集はトラック競技は20分前、フィールド競技は30分前に完了する。（一次招集は行わない）
走高跳・走幅跳は競技開始40分前に完了する。
棒高跳は競技開始50分前に完了する。
招集場所については、招集所（100mスタート外側ゲート）で10分前から行う。
- 3 競技について
 - (1) スタートは1回目の不正スタートで失格とする。合図はイングリッシュコマンドを使用する。
 - (2) トラック競技は全てタイム決勝とする。
 - (3) 走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックスローは3回の試技のみとする。
(三段跳は男女とも9m板を使用する)
 - (4) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。 ※公式練習は2本までとする
男子走高跳 1m35-40-45-50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ（練習は1m40・55・70）
女子走高跳 1m15-20-25-30-35-40-45-48 …以後3cmずつ（練習は1m20・35・50）
男子棒高跳 男女同時に競技を行う関係上、当日に高さを決め実施する
女子棒高跳 高さは10cmずつ上げていく
 - (5) 競技場シューズの扱いについて
規定外の競技用シューズで出場した場合は、審判長の権限により出場することができない。または、失格とする。競技終了後に発覚した場合は、記録を無効とする。
- 4 その他
 - (1) 選手は、団体名のアスリートビブスを胸背部につけること。
ただし、跳躍競技の選手は胸・背のどちらかにつけること。
 - (2) 1000mに出場する選手も団体名のアスリートビブスをつける。
 - (3) トラック競技に出場する選手は招集所で腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方部へつけること。
競技終了後、フィニッシュ地点で係員へ返却すること。
 - (4) ウォーミング会場等での投擲物において、顧問・指導者が必ず付き添うこと。
選手のみでの投擲物を使用した練習は禁止とする。